



年次報告書

2024/2025



ステークホルダーの皆様へ

2024/25年、OEKO-TEX®は透明性と信頼性の高いサステナビリティデータへの需要の高まりによって形作られる、変化し続ける規制環境と市場環境を継続的にナビゲートしました。そして、繊維・皮革産業全体で、検証済みで信頼できるソリューションへの需要が着実に増加していることを実感しました。

本年は17の試験機関との緊密な連携と、調和と技術的洗練による質的成長への注力により、57,000件以上のOEKO-TEX®認証書およびラベルを発行しました。これらの取組みは、我々OEKO-TEX®国際共同体の信頼性をさらに強化するものです。

戦略的パートナーシップは、こうした発展において重要な役割を果たしました。Cradle to Cradleとの連携は相互認証を促進し、業界関係者の負担軽減に寄与しています。Global Nature Fundとの協働は、生物多様性と水資源管理への取り組みをさらに深化させました。

また本年はOEKO-TEX® MADE IN GREENラベルが10周年を迎え、トレーサビリティと透明性への取り組みを再確認する節目となりました。現在、18,000点以上の認証製品が消費者にアクセス可能な検証済みサプライチェーンデータを提供しています。

認証保有企業、試験機関、産業界や市民社会のパートナーに至るまで、全てのステークホルダーの皆様の継続的な信頼、関与、ご意見に心より感謝申し上げます。皆様の専門知識は、当社のツールを現在および将来のニーズに適応させ、OEKO-TEX®のグローバル市場における影響力を強化する上で不可欠でした。これらの関係性は、私たちの共通の進歩の中核を成しています。

本報告書は多くの関係者との協働の成果です。私たちが共に成し遂げた進捗と今後の展望について、有益な示唆を提供できることを願っております。ぜひ内容をご確認いただき、これまでと同様に皆様からのフィードバックやご提案をお待ちしております。



Dr. Alfred J. Beerli
CEO, OEKO-TEX®



私たちの使命、 ビジョン、コアバリュー

私たちの使命は、健康と環境への配慮を第一に考えた信頼性の高い認証によって、消費者と産業界に信頼を提供することです。

繊維・皮革産業が環境と健康に及ぼす影響への関心が高まる中、OEKO-TEX®は信頼と革新の象徴です。17の国際的な試験機関で構成されるOEKO-TEX®国際共同体は、1992年の設立以来、繊維・皮革の有害物質について厳格な試験と認証により、消費者の安全を守ることに専心してきました。また、消費者の健康を守るだけでなく、業界内の透明性を高め、説明責任を果たすことにも尽力してきました。

OEKO-TEX®が歩んできた道のりは、常に連携と継続的な改善によって支えられてきました。私たちは、これからも産業界のステークホルダーとの協働によって成長を続け、最高水準の安全性と持続可能性のベンチマークに適合するよう、OEKO-TEX®規格を進化させると共に、繊維・皮革産業を発展させ、より持続可能な未来へと導くことを目指してまいります。

Vision

私たちのビジョン

私たちは、持続可能な効果を最大化し、繊維・皮革のバリューチェーン全体にわたって持続可能な選択を推進するために、トレーサビリティと透明性において業界をリードしていきます。

Mission

エコテックス®の使命

エコテックス®は繊維・皮革産業における信頼を高めます。持続可能性を原動力とするOEKO-TEX®の活動は、コミュニケーションをオープンにすることです。



持続可能性

独自の科学的手法により、私たちは持続可能な未来を創造します。私たちは、前向きな考え方と進歩的なアプローチで、革新的なプロジェクトにおいて積極的なソリューション主導のパートナーです。



安全性

30年以上にわたり、私たちは企業や消費者の自信を持った意思決定を支援してきました。私たちは信頼できるソリューションを通じて、製品と人の安全を推進します。企業とその従業員、消費者とその家族に至るまで、誰もが当社の認定製品とプロセスを信頼できます。

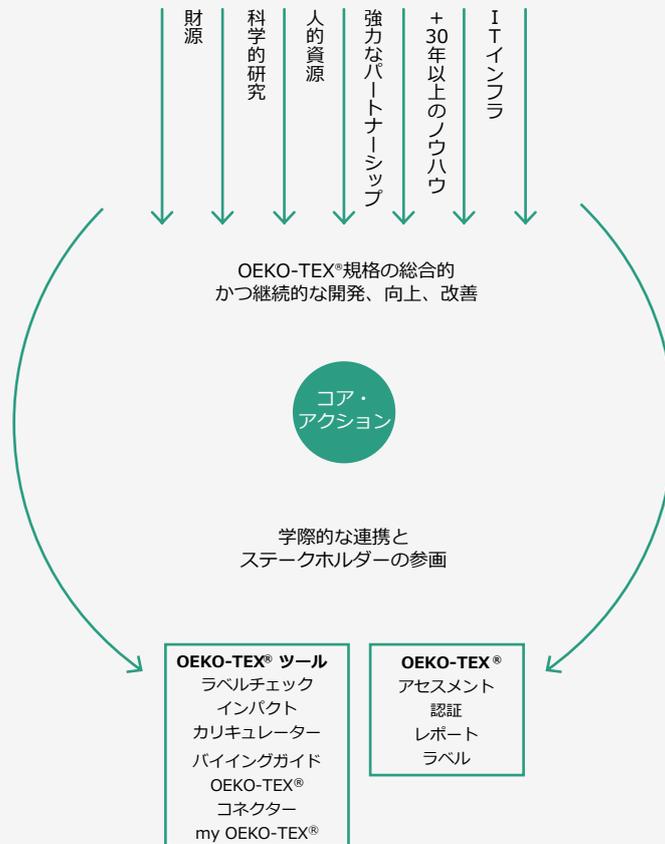


信頼性

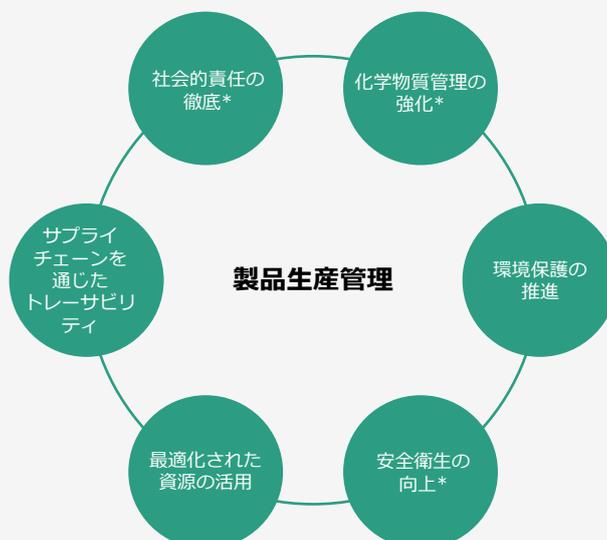
信頼は私たちの行動の基盤です。私たちは科学を信頼しています。OEKO-TEX®は、独立した科学分野の専門家からなる国際ネットワークです。私たちは、明確で一貫した基準を使用して試験および認証を行い、その基準をオープンに伝えます。

変革の理論

インプット



アウトプット



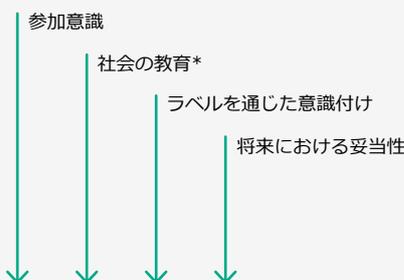
変革の理論

成果

改善すると...



以下につながり...



インパクト

その結果...



* 3 すべての人に健康と福祉を

5 ジェンダー平等を実現しよう

6 安全な水とトイレを世界中に

4 質の高い教育をみんなに

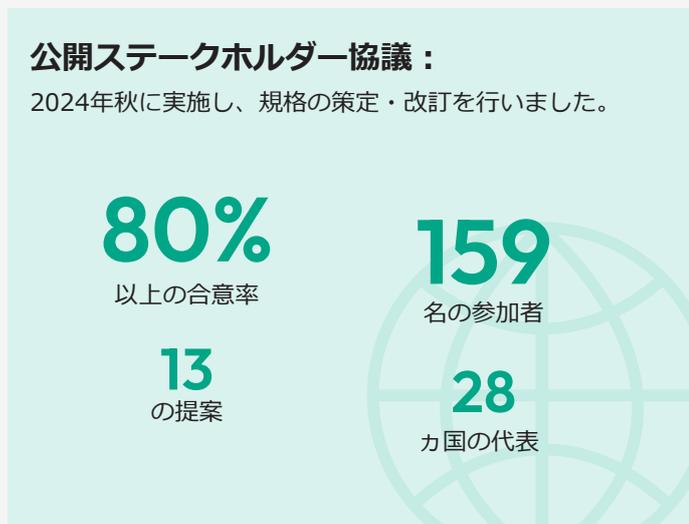
10 人や国の不平等をなくそう

12 つくる責任つかう責任

13 気候変動に具体的な対策を

17 パートナーシップで目標を達成しよう

数字で見るOEKO-TEX®



更なるハイライト

化学物質安全性の強化：

消費者と環境の安全に対する継続的な取組みの一環として、OEKO-TEX®は最新の科学的知見と規制動向を反映するため、製造時規制物質リスト（MRSL）および規制物質リスト（RSL）を更新しました。2025年には以下の変更が実施されました：

- ・ 肌が敏感なユーザーに対するより厳格な保護：生物活性物質が乳幼児用品および粘膜に直接接触する製品で禁止され、肌が敏感なユーザーの曝露リスクがさらに低減されました。
- ・ 全製品カテゴリーにおける香料の禁止：一部の人々にアレルギー反応を引き起こすことが知られている香料が、OEKO-TEX®基準で認証された全ての繊維・皮革製品において完全に禁止されました。
- ・ ビスフェノール類の厳格な管理：内分泌かく乱物質としての分類を反映し、ビスフェノールAの制限値が引き下げられました。さらにビスフェノールAFおよびビスフェノールFが制限物質リストに追加され、潜在的に有害なビスフェノール類に対する保護範囲が拡大されました。

2025年、OEKO-TEX® ECO PASSPORTは認証範囲を大幅に拡大し、汎用化学品およびメンテナンス用化学品を対象に含めることで、繊維・皮革サプライチェーン全体への影響力を拡大しました。この取り組みは有害物質の早期検出、労働者保護の強化、環境安全性の向上を支援します。

新たな対象範囲には既に2種類の認証済み汎用化学物質と2種類の認証済みメンテナンス化学物質が含まれています。再生利用汎用化学物質は品質安定性を確保するため、より高頻度での試験対象となりました。

さらに、界面活性剤、柔軟剤、錯化剤などの関連物質に対して生分解性要件が導入されました。これらの変更により、業界におけるより安全で透明性の高い化学物質使用を促進するECO PASSPORTの役割が強化されています。

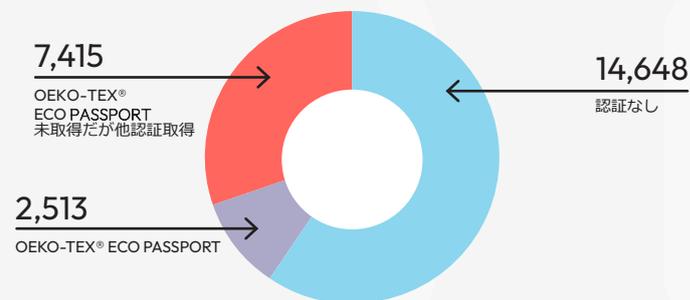
化学物質管理の強化：

透明性向上を目的としたOEKO-TEX® STePとGoBluの連携が拡大しています。

化学はあらゆるものの根幹です。製品がどこで製造され、どのように加工され、どの化学物質が使用されているかについての明確でアクセス可能な情報なしには、改善を意味ある形で証明できません。私たちにとって透明性とは、単に情報を共有することにとどまらず、ステークホルダーがより賢明な選択を行い、リスクを最小限に抑え、持続可能性の目標を達成するために必要な知見を提供することなのです。

- ・ OEKO-TEX®は現在、The BHive®プラットフォームに285施設（前年比+6%）が接続されています。このうち209施設が化学物質在庫データをアップロード済みです。
- ・ 24,576種類の化学物質がアップロードされ、OEKO-TEX®国際共同体の監査員により定期的に確認されています。
- ・ アップロードされた化学物質の11%がOEKO-TEX® ECO PASSPORT認証を取得です。

全施設における固有化学物質数



More to come:

- ・ スマートフォン向け「監査員アプリケーション」の開発においてGoBluと緊密に連携しています。本アプリにより監査員は現場の化学物質をリアルタイムで確認し、アップロード済みの在庫リストと照合可能となります。- 続報にご期待ください！
- ・ OEKO-TEX® STeP認証番号がThe BHive®に表示されるようになりました。これによりブランドや第三者機関への認証可視性が向上します。



国際的な連携を通じて企業責任の強化

OEKO-TEX® RESPONSIBLE BUSINESSの開発は、OECDの衣料品・フットウェア分野での責任あるサプライチェーンへのデューデリジェンスガイダンスを含む主要な国際的枠組みに基づいて進められました。

OECD基準評価への参加は、自然な次のステップでした。高い整合性評価結果は、繊維・皮革産業における企業デューデリジェンスの信頼できるパートナーとしての役割を裏付けるものです。評価の詳細な結果はここでご覧いただけます。



持続可能な開発目標 (SDGs)

目標3 すべての人に健康と福祉を

OEKO-TEX® STeP認証は、職場の安全や良好な衛生状態の維持、社会保険への加入を義務付けています。OEKO-TEX®ラベルの付いた製品は、農薬やPFAS、アゾ染料などの有害化学物質に対する広範な分析試験を実施し、消費者の安全を保証します。

3 すべての人に健康と福祉を



4 質の高い教育をみんなに



目標4 質の高い教育をみんなに

OEKO-TEX®では、認証企業/消費者/ステークホルダーに持続可能性に関連する最新情報を発信/提供し、関係者の認識を高め、十分な情報に基づいた意思決定のサポートをしています。また、品質保証システムの重要な要素として監査員のトレーニングがあり、STeP認証では、経営陣や従業員を対象とした社会的/環境的テーマに関する研修/教育を、対象企業の認証取得要件として義務付けています。

目標5 ジェンダー平等を実現しよう

ジェンダーの平等は、OEKO-TEX®の信念の中で重要な部分を占めています。この行動規範は世界人権宣言とILO労働基準に関連しており、すべての従業員が積極的に関与できるようになっています。

5 ジェンダー平等を実現しよう



6 安全な水とトイレを世界中に



目標6 安全な水とトイレを世界中に

OEKO-TEX® STePやOEKO-TEX® ECO PASSPORTは、化学物質の管理状況及び廃水の品質をモニタリングし、最適化を行うことで、新たな需要に迅速に対応し、危険な化学物質や未処理廃水の廃棄防止を支援します。

10 人や国の不平等をなくそう



目標10 人や国の不平等をなくそう

「公正な賃金や労働時間」、「人種、出身、障害、宗教、性的指向、民族などについての差別がない」、「すべての労働者に対する平等な待遇」、これが私たちの信条です。

目標12 つくる責任 つかう責任

OEKO-TEX® MADE IN GREEN、サプライチェーンを透明化し、追跡可能にすることで、消費者に責任ある購入を促しています。OEKO-TEX® STeP認証は、環境に配慮した生産工程管理の長期的実践を保証します。OEKO-TEX® RESPONSIBLE BUSINESSは、環境や人権に関するデューディリジェンスを経営システムに組み込んで実践する企業をサポートします。

12 つくる責任 つかう責任



目標13 気候変動に具体的な対策を

OEKO-TEX® STePは、最善の方法と効率的なプロセスの導入により、サプライチェーン全体のカーボンフットプリント削減を目的としており、すべての生産工程を包括的に分析/評価します。

OEKO-TEX® ORGANIC COTTONは、持続可能性/土壌の健全性/再生農業に加え、生物多様性をサポートします。

13 気候変動に具体的な対策を



目標17 パートナーシップで目標を達成しよう

強力なパートナーシップと信頼できる協力関係は、責任ある消費と生産に好影響をもたらすための、私たちにとって重要な事業要素です。国連、OECD、ISEAL、ZDHC、Partnership for Sustainable Textilesなど、多様かつ国際的な「マルチステークホルダー・イニシアティブ」と交流しています。

17 パートナーシップで目標を達成しよう





OEKO-TEX®は 世界中に展開

OEKO-TEX®国際共同体は、欧州と日本にある第三者試験・研究機関によって構成されています。各機関のノウハウを結集して試験方法を開発し、信頼できる認証の基礎となる規制値を定めるなど、繊維・皮革産業のための最高水準を設定すべく取り組んでいます。

OEKO-TEX®の試験・研究機関およびそのコンタクトオフィスは、世界70カ国以上に広がっています。



OEKO-TEX®

規格設定のプロセス

私たちOEKO-TEX®の根幹にあるのは、認証基準の高品質を維持することです。技術水準が最高レベルにあることを保証するために、規格は毎年改訂されます。さまざまなOEKO-TEX®委員会が世界的な規制、科学的データ、業界テクノロジーを追跡し、OEKO-TEX®規格の今後のアップデートについて協議を行います。

委員会は分野や国の異なるさまざまな立場の社内外の専門家で構成されており、可能な限り多角的な検討ができるよう、テキスタイルエンジニア、技術者、化学者、毒物学者、弁護士、社会学者、マーケティング担当者などが代表を務めています。

この幅広い専門知識と協力的な交渉プロセスを通じて、透明性と信頼性に対する高い要求を満たし、業界をリードする規格を策定します。OEKO-TEX®規格設定プロセスへのステークホルダーの参加は非常に重要です。ステークホルダー公開協議では、定期的に意見が聴取され、国際諮問委員会はその提案に基づいて運営委員会に提言を行います。

ワーキンググループ

ワーキンググループは、技術会議での提案をまとめ、深めるために定期的に開催されます。推敲と議論は専門委員会の会合で発表されます。さらに、OEKO-TEX®パブリックステークホルダーコンサルティングに参加した外部のステークホルダーからの意見についても討議し、実現に向けて検討します。

- 12 のワーキンググループ
- 計 70 名の参加者
- 女性 40名
- 男性 30名
- 11 カ国から集結

規格設定の詳細については、こちらをご覧ください：

www.oeko-tex.com

パートナーシップ & 様々な取組み

EURATEX

EURATEXの公式パートナーとして、OEKO-TEX®は欧州繊維バリューチェーン全体における繊維製品の安全性、透明性、持続可能性の強化に積極的に貢献しています。この連携により、影響力のある政策枠組みの形成を支援し、業界内における責任ある先見性のある意思決定を支えることが可能となります。

ZERO DISCHARGE OF HAZARDOUS CHEMICALS (ZDHC)

ZDHCとOEKO-TEX®は、持続可能な化学物質管理を推進し、発展させるため、ZDHCとの連携を強化します。このパートナーシップは、持続可能性の推進を図るとともに、化学物質の配合・製造業者、サプライヤー、ブランド、小売業者のニーズに応えることを目指すものです。

Cradle to Cradle

OEKO-TEX®は、基準の改善を支援し、繊維産業の共通の利益のために倫理的で公平かつ開かれた対話を促進するため、Cradle to Cradleと協力しています。両者は、繊維分野における製品の循環性、製品安全性、環境・社会・ガバナンス（ESG）コンプライアンス認証の価値を高めるため、協力和プログラム認証の道を追求することに合意しています。

Global Nature Fund

Global Nature Fundとの連携により、繊維バリューチェーン全体における生物多様性の保護に取り組んでいます。環境配慮型繊維生産を促進するための基準を共同で策定中です。

ISEAL

OEKO-TEX®はISEALのコミュニティメンバーとして、信頼と透明性の確保に努めています。ISEALの学習、コラボレーション、イノベーションの各活動に参加することで、OEKO-TEX®規格とマネジメントシステムの向上に努めるとともに、より大きな影響力を生み出します。

Service and solution providers

OEKO-TEX®は、複数のサービスおよびソリューションプロバイダーと連携し、認証情報を検証してトレーサビリティと透明性を高めるとともに、現在及び将来の法規制に向けた準備を共同で進めています。

監査による 自信と信頼

OEKO-TEX®認証機関は、規格とお客様を結びつけています。OEKO-TEX®規格を実施し、徹底するうえで欠くことのできない存在である認証機関は、現在、世界70カ国以上に展開し、グローバルな存在感を示しています。

一方で、こうしたグローバルな事業展開は、多様な文化的観点と組織の継続的な事業拡大により、一貫した品質基準の維持が課題となります。

一貫した品質保証のために、私たちがとっている対策の一部をご紹介します。

- ✓ **ラウンドロビテスト**により、すべての試験機関が適切に実施していることが保証されます。
- ✓ **OEKO-TEX®STePの監査員**は、OEKO-TEX®国際共同体による総合的な研修を受けています。
- ✓ **品質保証**として、市場での認証製品をランダムに確認する管理試験を実施しています。
- ✓ **認証機関への監査**は、人材とプロセスをOEKO-TEX®規格と原則に合致させるうえで極めて重要な役割を果たします。OEKO-TEX®国際共同体に加盟する各認証機関は、3年ごとにOEKO-TEX®国際共同体による審査を受けます。この認証機関監査が正式なチェックポイントとなっており、認証機関の手順を第三者機関が評価することで、OEKO-TEX®国際共同体のサポート分野の特定・拡大が可能になります。

数字で見る監査

26

対面式トレーニングを修了した、STeP監査員の最新人数

39

再研修を通じて経験を共有し知識を深めた、経験豊富なSTeP監査員の人数

161

OEKO-TEX®国際共同体で活躍しているプロのSTeP監査員数

10,364

STANDARD 100とLEATHER STANDARD、ORGANIC COTTONでの現地監査の実績数

ラウンドロビンテスト

ラウンドロビンテストは、OEKO-TEX®試験機関間の比較を行うものです。これは、規格の測定手順と試験機関の高い品質を確保するための戦略の重要な部分です。同一のサンプルは、各試験機関において同一の試験方法で試験され、その結果は正確さと一貫性のために比較されます。このような重要な品質測定により、認証と信頼できる加盟機関の整合性について確信を持って表明することができます。年1回のラウンドロビンテストへの参加は、OEKO-TEX®試験機関の義務であり、OEKO-TEX®認証の品質を保証するうえで欠かせないものです。

20

参加した試験機関

44

テストパラメーターの確認

品質保証



OEKO-TEX®の品質保証戦略には、STANDARD 100、LEATHER STANDARD、ORGANIC COTTON、ECO PASSPORT認証を取得した製品やMADE IN GREENラベルを付けた製品の管理試験が含まれています。

2024/2025 数字で見る管理試験：

+7,700

70カ国以上から7,700件以上の試験報告書

+9,500

小売店での購入、または監査や認証更新時に入手したサンプル数

+45,000

サンプルの分析試験と確認回数

>90%

ランダムサンプルから認証通りの結果が確認された割合

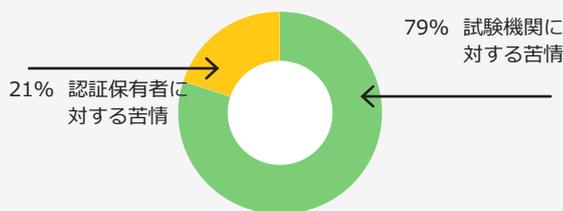
苦情管理

OEKO-TEX®の苦情処理の仕組みは、透明性と信頼性への取組みの基盤です。これにより、従業員、顧客、市民社会の構成員を含むステークホルダーが、OEKO-TEX®の基準、行動規範、利用規約への潜在的な違反に関する懸念を提起することが可能となります。すべての苦情は公平性、機密性、中立性を保って評価されます。懸念事項の深刻度と立証状況に応じて是正措置が開始され、義務的な改善措置から認証の取り消しまで多岐にわたります。場合によっては、OEKO-TEX®による予告なしの監査の実施や、責任ある機関に対する詳細な調査を開始することもあります。

苦情申し立てについては、構造化されたアクセスしやすい経路を提供することで、OEKO-TEX®システムへの信頼を高め、認証企業および加盟機関の説明責任を強化します。これにより、すべてのステークホルダーが責任、透明性、誠実さという共通の価値観を堅持することが保証されます。苦情処理の仕組みに関する詳細はこちらをご覧ください：

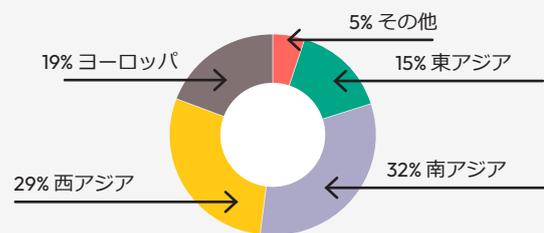
www.oeko-tex.com

2024/2025年度、OEKO-TEX®は42件の苦情を受け付けました。その多くはOEKO-TEX®機関の業務に関するもので、一部は他試験機関からの申し立てでした。最も頻繁に取り上げられた課題は、OEKO-TEX®ガイドラインとの整合性を高める必要がある認証プロセスに関するものでした。

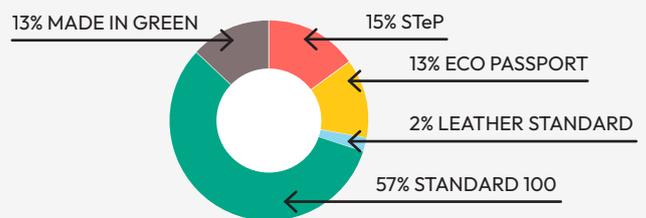


苦情の約20%は顧客（認証取得者および最終消費者などの利害関係者）から寄せられ、その半数は公正な賃金や社会保障へのアクセスといった社会的懸念事項に関連していました。

これらの苦情の大半はアジア地域に集中しており、同地域の状況を反映しています。



苦情の半数以上はOEKO-TEX® STANDARD 100認証に関するものでした。これはSTANDARD 100が依然として最大かつ最も広く利用されている認証であることに基づいた結果でした。



法的保護

OEKO-TEX®のアンブレラロゴおよび各種プロダクトロゴは、様々な法域で商標登録されており、これらが商標の使用権および保護権の基盤となっています。この基盤に基づき、OEKO-TEX®は商標保護のための仕組みを整備し、市場において第三者に対して商標権を適切に主張しています。

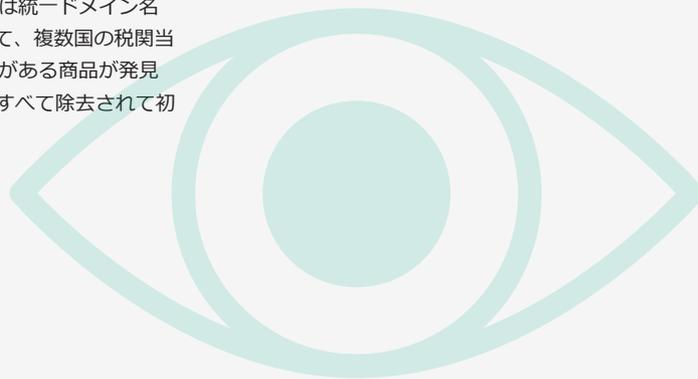


商標登録

2022年のブランドリニューアルに伴い、当社の商標出願は現在、世界のほとんどの管轄区域で登録が完了しています。これらの多くの区域において、OEKO-TEX®のアンブレラロゴは認証マークとして登録されています。認証マークには、商品やサービスに対する品質保証の機能があります。認証マークの所有者は、商品の製造方法、サービスの提供方法、品質、正確性、その他の特性について保証を行います。また、認証マークは、当該マークを管理する規定に従う者であれば、誰でも使用することができます。これにより、ライセンス供与や当社マークの不正使用防止といった法的な取り扱いが簡素化されます。

商標の予防的保護

OEKO-TEX®商標を保護するため、OEKO-TEX®事務局は様々な管轄区域で新規に登録される商標について、その内容や外観の類似性を積極的に監視しています。潜在的な衝突が確認された場合には、正式な異議申立手続きを開始します。また、OEKO-TEX®商標に酷似する名称のインターネットドメイン登録についても監視しており、該当事例に対しては統一ドメイン名紛争解決方針（UDRP）に基づく措置を講じます。加えて、複数国の税関当局と協力関係を構築しており、国境で商標権侵害の疑いがある商品が発見された場合には、OEKO-TEX®商標への不適切な表示がすべて除去されて初めて通関が許可されます。



商標の不正使用に対する保護

商標の不正使用とは、通常、製品やマーケティング資料における当社商標の不適切な使用を指します。OEKO-TEX®の表示規則は、ラベリングガイド等に認証取得者および第三者が当社商標を適切に使用方法を定めています。不正使用が確認された場合、当社は民事上の措置を講じ、必要に応じて刑事上の措置も取ります。この取り組みには、異なる法域において当社の権利を執行する世界的な法律専門家ネットワークが支援しています。



マーケティング・コラボレーション & ソーシャルメディア



消費者向け啓発キャンペーン 「心地よいものを身につけよう。 意識的な選択を、もっと簡単に。」

MADE IN GREENラベルの10周年を記念し、OEKO-TEX®は4月下旬から6月下旬にかけて、10週間にわたるグローバルマーケティングキャンペーンを実施しました。本キャンペーンの目的は、安全で責任ある選択に関するエンドユーザーの認知度向上と啓発です。「心地よいものを身につけよう」というキャッチコピーのもと、TikTok、Facebook、Instagram、WeChat、YouTube、LinkedInなど複数のソーシャルメディアプラットフォームを活用し、MADE IN GREENラベルの利点に関する魅力的なストーリーを発信しました。

キャンペーンの集計結果：

- 全チャンネルで**2,000万インプレッション**以上を達成
- リーチと信頼性を高めるため**11名のインフルエンサー**とのコラボレーションを実施
- 各プラットフォームの視聴者に合わせた多様なコンテンツ形式（ショート動画から教育コンテンツまで）を展開

このキャンペーンにより、MADE IN GREENラベルの認知度は大幅に向上し、OEKO-TEX®の透明性および消費者信頼への取り組みもさらに強化されました。

ソーシャルメディアトラフィック

OEKO-TEX®は、ターゲット層との関わりを深めるために焦点を絞ったソーシャルメディア戦略を強化し、健全なKPI成長を達成しました。

今後、重点市場におけるソーシャルメディアでの存在感をさらに高めるためには、魅力的で教育的かつ感情に訴えるコンテンツを継続的に作成することが重要です。



Instagram +34%
10,114 → 13,538 フォロワー



Facebook +8%
8,076 → 8,734 フォロワー



Wechat +10%
33,293 → 36k フォロワー



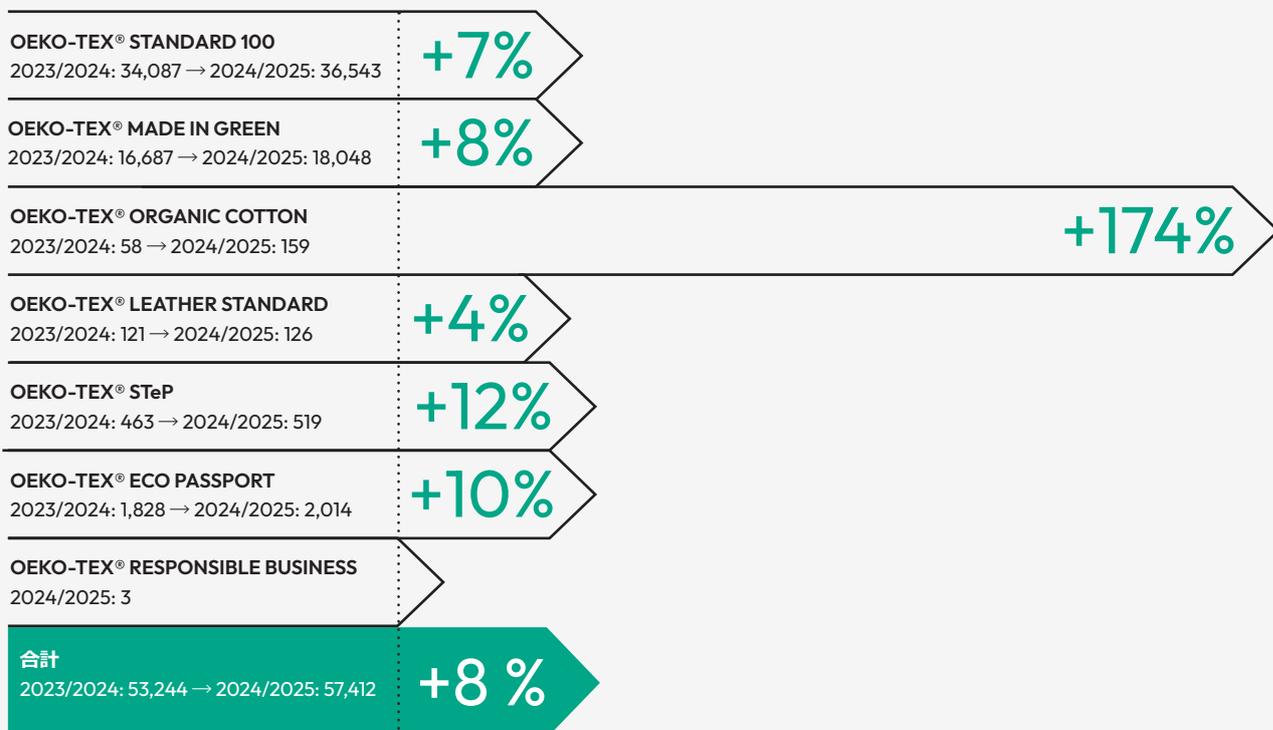
LinkedIn +14%
43,303 → 49,374 フォロワー



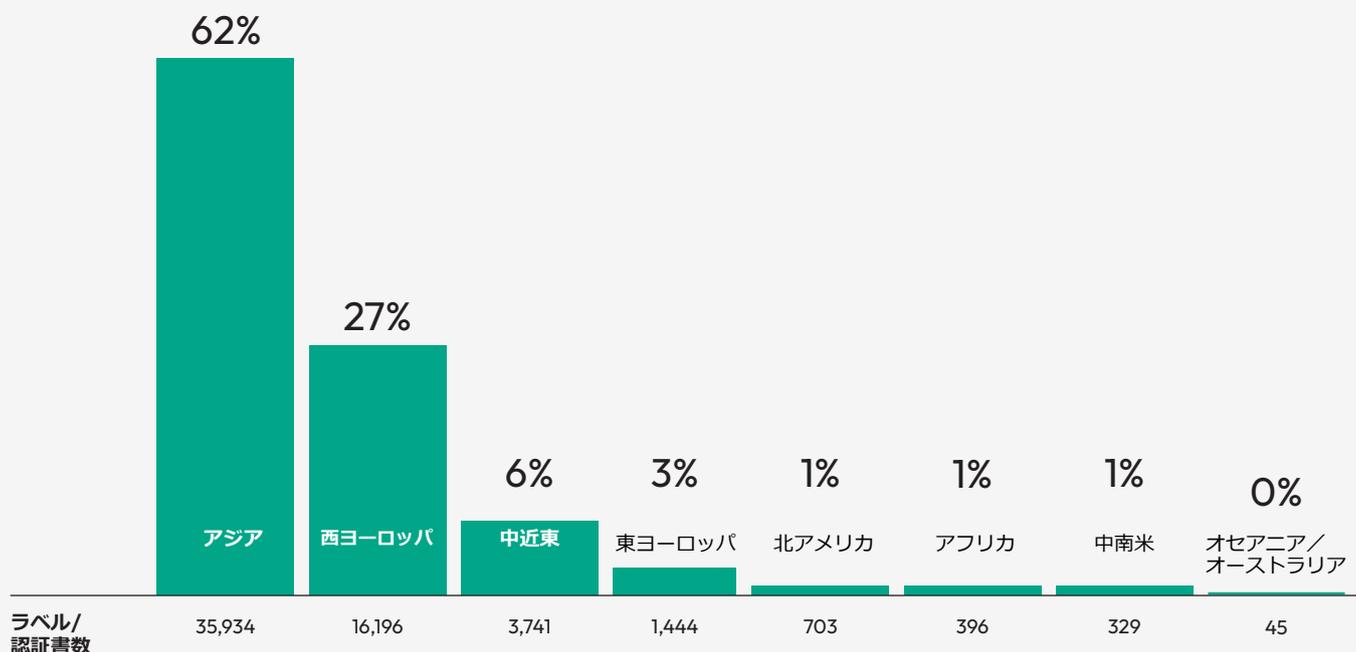
TikTok New Channel
109 フォロワー



認証書・ラベルの発行数

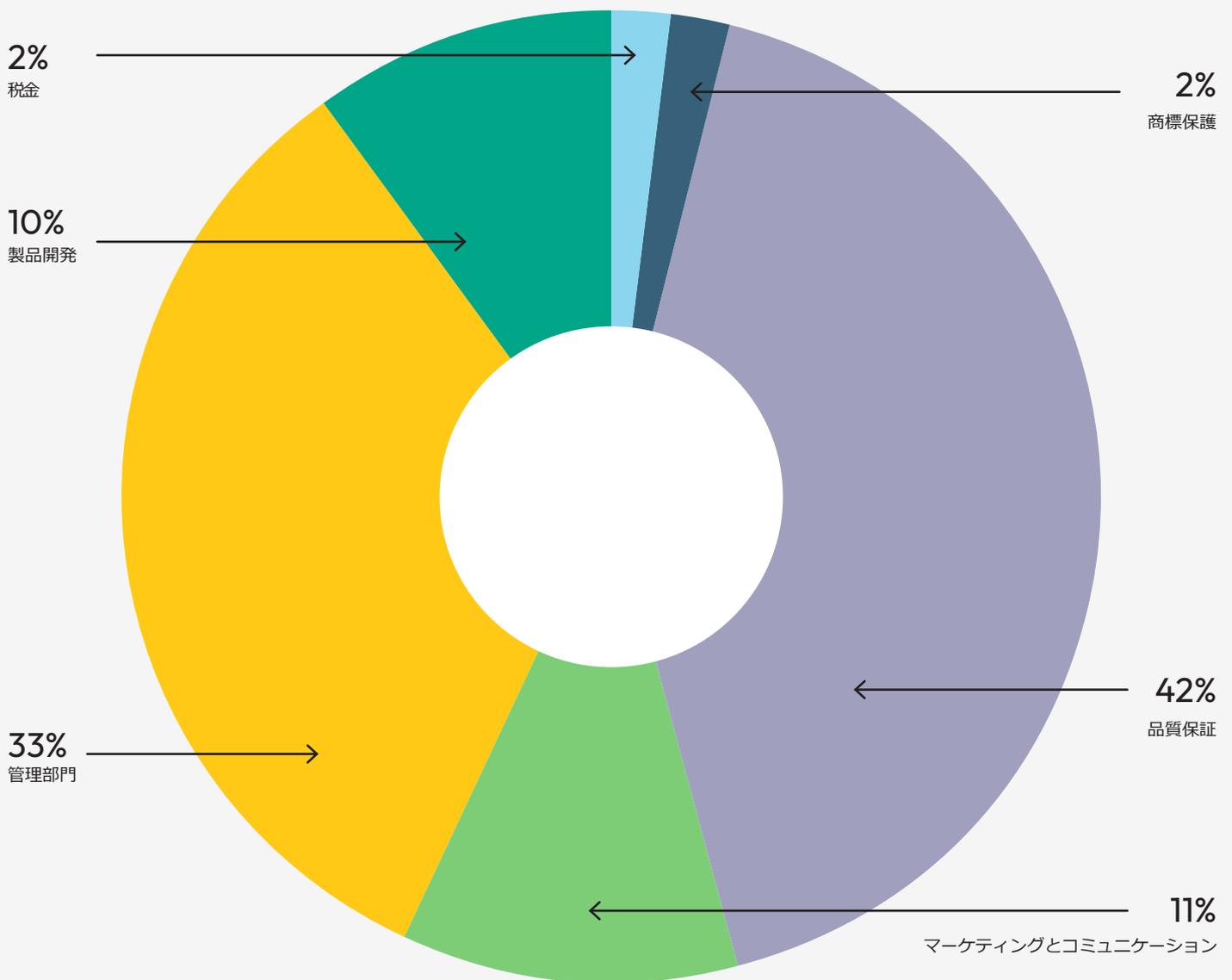


認証書・ラベルの世界的な発行状況



支出概要

品質へのこだわりを明確に



OEKO
TEX®

繊維・皮革産業の
信頼とサステナビリティを
確保します。

OEKO-TEX® 国際共同体
Gutenbergstraße 1
CH-8002 Zurich (スイス)

電話番号 +41 44 501 26 00
info@oeko-tex.com
www.oeko-tex.com

チューリッヒ州商業登記局